

得する内容は、大学院修士課程にも引けを取らないものと考えられます。専攻科生の活躍がいろいろな面で小山高専の成果を代表するとみなされることが増えてまいります。それだけに皆さんの勉学の負担も重くなると思いますが、それを乗り越えることにより、高度なエンジニア、研究者としての素養を獲得できます。専攻科では研究活動を軸にして教育が展開されますが、特に特別研究は重要です。これに挑戦して、研究の困難さ・奥深さ、それを達成したときの感動を体験し、素晴らしい成果を挙げられることを期待しています。

学校を含めて社会は複雑化しています。その中で生きていく皆さんの中にはさまざまな悩み事を抱える場合があるかもしれません。そのようなときは遠慮せず校内に用意しているセーフティネットとしての学生支援室を活用してください。専門の医師やカウンセラーによる治療やアドバイスを受けることができますので安心して勉学に励んでいただきたいと思います。

以上、多くのことを申し述べましたが、本日晴れて小山工業高等専門学校に入学された皆さん、本校の学生としての誇りと自信を持って、それぞれの志を成すため、あるいは固めるため学業に課外活動等に打ち込んでください。若者らしく、楽しく、有意義な学生生活を送るように期待しております。

また、保護者の皆様には本校と連携をとりながらご本人の成長をご家庭からサポートして下さるようお願い申し上げます。

これから始まる小山高専生活が充実したものとなることを心から願って、入学生諸君を歓迎する告辞と致します。

歓迎の言葉

在校生代表 電子制御工学科5年
寺崎 峻

新入生、留学生、編入生の皆さんご入学おめでとうございます。在校生を代表して、皆さんのご入学をお祝い申し上げます。

皆さんの小山高専での新生活が今日から始まりますが、私から皆さんへ、高専生活における2つのアドバイスを送りたいと思います。

一つ目として、部活動やコンテストなどの様々な課外活動に参加しましょう。本校には、多くの部活動や委員会があり、さらにプログラミングコンテスト、ロボットコンテストやデザインコンペティションなどの校外コンテストに参加する事も出来ます。これらへの参加経験は高専生活をより充実なものとし、良い思い出になるだけでなく、いつか自分のためになると思います。ぜひ積極的に参加していただきたいと思います。

二つ目に、疑問を疑問のままにしないようにしましょう。教員や先輩、そして同級生など、小山高専には皆さんの疑問を解決してくれる人が沢山います。また本校の図書館には各専門分野の本が多くそろっており、パソコン室は誰でも使うことが出来ます。それら本校の施設も有効活用して、興味のある分野の知識を大きく広げてほしいと思います。そして、身につけた知識は自分だけのものにせず、友人に共有しましょう。

最後になりますが、これから始まる皆さんの小山高専での生活が実り多いものとなることを願いまして、歓迎の言葉とさせていただきます。

答 辞

入学生代表 物質工学科1年
木村 風香

本日は私たち新入生のために、このような盛大な入学式を挙げて頂き、誠にありがとうございます。校長先生をはじめ、諸先生ならびに来賓の皆様にも心より御礼申し上げます。

今朝、この会場に向かう途中、春の花々も咲き、柔らかく暖かな風を感じながらいく度となくこの学校の前を通る時に「いつかこの学校で勉強をしてみたいな。」と漠然と思っていたことを思い出しました。先程から校長先生や先輩、そして来賓の方々からの祝福、激励のお言葉を頂き、いよいよ現実のものかと身が引き締まる思いです。

私たちはそれぞれの夢や目標を持ち、晴れて小山工業高等専門学校に入学することになりました。今日から5年間先生方のご指導のもと、先輩方の背中を追いかけながら、私たち新入生一同、この学校の学生であることに誇りを持っていきたいと思えます。そして世界に通用する技術者を目指し、精一杯学んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、今まで私たちを支えて下さった両親にも感謝の気持ちを伝え、答辞の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

